

令和3年

消防年報

石岡市消防本部

〈令和4年刊行〉

はじめに

本書は、当市の現勢及び令和3年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集しました。

なお、この統計中予算関係事項については会計年度とし、その他の概要については、当該表にそれぞれ記載した年月日によるものであります。

令和4年8月

石岡市消防本部

目 次

石岡市の概要	1
石岡市消防本部・消防署のあゆみ	2～4
石岡市消防団のあゆみ	5～6

第一章 総 務

1 庶 務	
(1) 石岡市消防本部・消防署の組織	9
(2) 事務分掌	10～13
(3) 予算	14
(4) 職員配置状況	15～18
2 施設機械	
(1) 消防力の分布	19
(2) 消防機動力	20～21
(3) 消防車両等配置状況	22
(4) 消防水利の状況	23

第二章 予 防

1 火災予防	
(1) 主な火災予防の行事	27
(2) 立入検査	27
2 防火対象物状況	
(1) 消防用設備等を必要とする防火対象物の状況	28
3 予防事務処理状況	
(1) 法令関係	29
(2) 火災予防条例関係	29
(3) 建築確認に対する消防同意関係	29

4 危険物	
(1) 危険物製造所等の施設数	30
(2) 数量別危険物施設状況	30
(3) 危険物事務処理状況	31

5 防火広報協力団体一覧	
(1) 防火広報協力団体	32

第三章 警 防

1 火 災	
(1) 月別火災発生状況	35
(2) 用途又は出火物件	36
(3) 時間・原因別火災発生状況	36
(4) 過去5カ年の出火原因	37
(5) 警防隊の訓練や講習会	38～39

2 救 急	
(1) 救急出動状況	40
(2) 曜日別・事故種別出動件数	41
(3) 傷病程度別搬送人員	41
(4) 署所別救急出動及び搬送人員	42
(5) 事故種別・年齢別搬送人員	42
(6) 発生場所別搬送人員	42
(7) 救急講習会実施状況	43
(8) 救急救命士配置状況	43

3 救 助	
(1) 救助出動状況	44
(2) 行事	44
(3) 訓練状況	44
(4) 救助隊員配置状況	44

4 情報通信	
(1) 災害覚知別受信状況	45
(2) 緊急通報システム受信状況	45
(3) 気象年報	46
(4) 119番通報入電から緊急出動まで	47

第四章 消防団

1 庶務

- (1) 消防団の組織図 51
- (2) 団員関係 52~53
- (3) 消防団員の報酬・費用弁償 53

2 施設機械

- (1) 消防団詰所（車庫）概要 54
- (2) 消防団機動力 55
- (3) 消防団車両現勢 56
- (4) 消防団分布図 57

石岡市の概要

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、市域の北西部に連なる筑波山系から南部の市街地にかけてなだらかな丘陵地が広がり、市北部から東南端へと流れる恋瀬川は、日本第2位の面積を持つ霞ヶ浦にそそいでいます。また、首都圏と東北地方を結ぶ常磐自動車道、国道6号、JR常磐線が市を南北に貫き、この交通条件の良さが、市民生活はもちろんのこと企業誘致や農作物の出荷などにおいて有利に働いています。

さらに、市域のすぐ北を北関東自動車道が横断しているほか、茨城県の空の玄関口である茨城空港も、市内から約10キロメートルの距離にあります。

市章



石岡市の人口（令和4年4月1日現在）

男	35,959人
女	36,322人
合計	72,281人
世帯数	31,478世帯



市の木 しい
(平成17年10月制定)



市の花 ゆり
(平成17年10月制定)



市の鳥 ひばり
(平成17年10月制定)

石岡市消防本部・消防署のあゆみ

平成17年	10月1日	石岡市消防本部及び消防署設置条例が施行され、消防本部3課1室、2消防署1分署2出張所、消防吏員130名(定員135名)事務員3名(定員4名)により発足。
平成18年	12月26日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署に配備。
平成19年	3月30日	茨城県立消防学校から吏員1名帰任。(平成16年度旧石岡市から派遣)
	10月1日	石岡市石岡の町界町名変更に伴い、本部所在地を「石岡市石岡一丁目2番地18」と改める。
	11月6日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	12月7日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、消防ポンプ自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	12月12日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、救助工作車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
平成20年	2月1日	旧救助工作車を学校教育訓練用として、茨城県立消防学校に無償譲渡。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令室を通信指令課と改め消防本部4課となる。
平成21年	5月25日	石岡市危険物安全協会設立50周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から連絡車(プロボックス)が寄贈され、消防本部に配備。
平成22年	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
平成23年	4月2日	東日本大震災における緊急消防援助隊茨城県隊として、救急部隊及び後方支援部隊を福島県へ派遣。
	5月13日	緊急消防援助隊茨城県隊が活動を終え、救急部隊及び後方支援部隊帰任する。(吏員計16名派遣)
	11月9日	東日本大震災において緊急消防援助隊茨城県隊として、災害活動に従事した功績により、総務大臣表彰を授与する。
平成25年	1月18日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	3月29日	茨城県防災航空隊から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課へ吏員1名派遣。
平成26年	1月6日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	2月6日	消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	3月18日	指揮車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会へ吏員1名派遣。
	11月3日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
平成27年	1月27日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、化学消防車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
	3月31日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課から吏員1名帰任。
	11月20日	消防ポンプ自動車1台(CAFS搭載)を更新し、八郷消防署へ配備。

平成28年	1月7日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令課を廃止し、消防本部3課となる。 いばらき消防指令センターへ吏員2名派遣。
平成29年	1月17日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。 消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。 茨城県立消防学校へ吏員1名派遣。
平成30年	2月16日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署へ配備。
	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。
	8月29日	広報車を1台更新し、連絡車として消防本部へ配備。
平成31年	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 茨城県立消防学校から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災・危機管理部消防安全課へ吏員1名派遣。 いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。
令和元年	5月1日	元号が令和となる。
	10月25日	石岡市危険物安全協会設立60周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から搬送車(ハイゼットトラック)が寄贈され、消防本部へ配備。
	11月15日	石岡市幼少年婦人防火委員会の名称を石岡市幼少年女性防火委員会に変更するとともに、市内の婦人防火クラブの名称も女性防火クラブへ変更。
令和2年	3月31日	いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
令和3年	3月31日	茨城県防災・危機管理部消防安全課から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
	6月10日	石岡消防署愛郷橋出張所が、石岡市高浜歩行1335番地から新庁舎(鉄骨造平屋建て 述べ面積544.38㎡)の石岡市三村6921番地1に移転し供用を開始する。
	7月24日	石岡消防署愛郷橋出張所新庁舎の開所式を挙げる。 静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県大隊として、消火救助部隊を静岡県へ派遣。
	7月26日	緊急消防援助隊茨城県大隊が活動を終え、消火救助部隊帰任する。 (吏員計4名派遣)
令和4年	2月17日	連絡車(トヨタハイエース)1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	2月21日	静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県大隊として、災害活動に従事した功績により、消防庁長官表彰、茨城県知事感謝状、緊急消防援助隊活動章を授与する。

令和4年 3月16日 高規格救急自動車1台を購入し、石岡消防署へ配備。
3月31日 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
4月1日 いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。

石岡市消防団のあゆみ

- 平成17年 10月1日 石岡市消防団条例が施行され、石岡市石岡消防団(10分団、団長以下176名)並びに石岡市八郷消防団(8分団32部、団長以下452名)により発足。
- 平成18年 2月10日 石岡市消防団(旧石岡)が、財団法人日本消防協会から最高榮譽賞「まとい」を授与する。
- 3月17日 消防ポンプ自動車2台を更新し、第7分団及び第10分団へ配備。
- 4月1日 石岡市消防団条例を一部改正し、石岡市石岡消防団並びに石岡市八郷消防団を統合。石岡市消防団(1本部18分団32部、団長以下628名)となる。
- 10月21日 第57回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第10分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
- 11月28日 消防ポンプ自動車1台を更新し、第15分団へ配備。
- 平成19年 10月20日 第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第15分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第16分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
- 平成20年 3月30日 市町村合併推進体制整備費補助を受け、第11分団第2部車庫兼詰所が竣工。
- 10月18日 第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第14分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
- 11月15日 自治体消防60周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)が代表として出場。
- 平成21年 10月18日 第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団4部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
- 平成22年 10月24日 第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて入賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
- 平成23年 10月23日 第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団1部(ポンプ車の部にて入賞)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
- 11月19日 第23回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第11分団4部(小型ポンプの部にて入賞)が代表として出場。
- 平成24年 10月14日 第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて入賞)が代表として出場。
- 平成25年 10月14日 第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団1部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
- 11月3日 自治体消防65周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会兼第24回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団2部(小型ポンプ操法の部にて敢闘賞)が代表として出場。

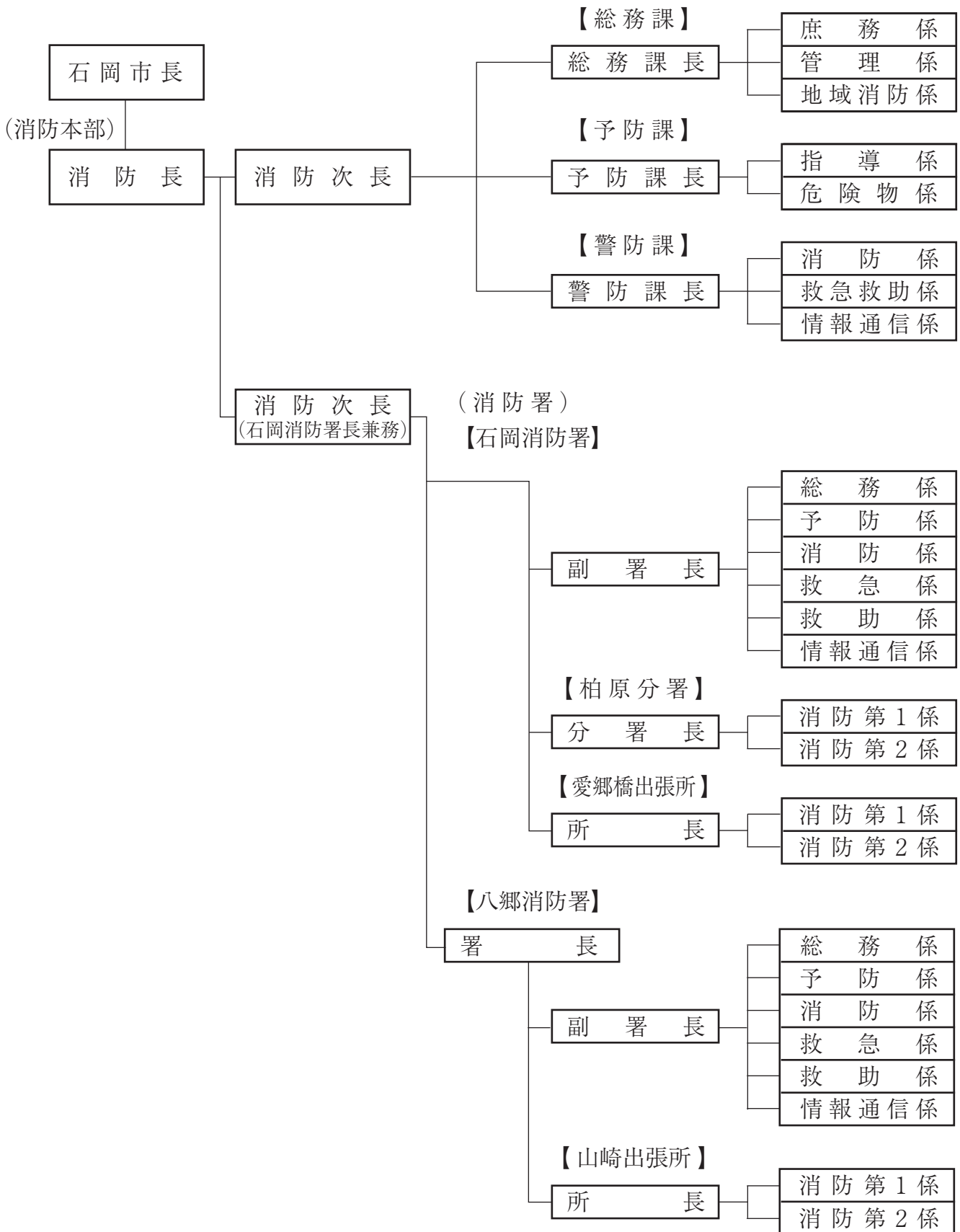
平成26年	1月28日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第1分団及び第15分団2部へ配備。
	10月19日	第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第14分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団2部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成27年	10月11日	第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月2日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団1部へ配備。
	11月21日	第25回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成28年	10月16日	第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	12月9日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第14分団3部へ配備。
平成29年	10月15日	第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて第3位)並びに第15分団2部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月7日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第2分団及び第18分団1部へ配備。
平成30年	4月1日	石岡市消防団再編により、八郷地区8個分団4部制を廃止、16分団制とし石岡市消防団26分団制で運用を開始する。
	10月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第3分団及び第4分団へ配備。
	10月21日	第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第17分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第14分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和元年	10月20日	第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第9分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第20分団(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月16日	第27回全国消防ポンプ操法競技大会茨城県代表選考会が開催され、第20分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和2年	2月20日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第11分団及び第23分団へ配備。
令和3年	1月24日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第13分団及び第22分団へ配備。
	4月1日	機能別団員制度を導入し、各分団下で運用を開始する。
令和4年	2月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第15分団及び第17分団へ配備。

第一章 総 務

1. 庶務

(1) 石岡市消防本部・消防署の組織

令和4年4月1日現在



(2) 事務分掌

消防本部

総務課	庶務係	<p>人事及び組織に関すること。 職員の服務及び服制に関すること。 職員の教養，指導に関すること。 職員の福利厚生に関すること。 消防関係表彰に関すること。 文書の收受，発送に関すること。 公印の保管に関すること。 予算及び経理，諸給与に関すること。 消防関係諸規定の制定，改廃に関すること。 消防統計広報に関すること。 その他他の課，係に属さないこと。</p>
	管理係	<p>補助事業及び請負契約に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防水利，諸施設の整備保全に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 機関員の技能及び指導に関すること。 車両の交通事故に関すること。</p>
	地域消防係	<p>消防団に関すること。 消防協会に関すること。 消防団員の任免，表彰及び報酬等に関すること。 消防団員の公務災害補償，福利厚生及び健康管理に関すること。 消防団員の教育訓練に関すること。 消防団員の被服に関すること。 その他消防団事務に関すること。</p>
予防課	指導係	<p>火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物の査察指導に関すること。 消防用設備等に関すること。 建築物確認同意に関すること。 防火管理者に関すること。 査察計画及び技術指導に関すること。 幼少年女性防火委員会の事務に関すること。 その他予防事務に関すること。</p>
	危険物係	<p>危険物製造所等の許認可に関すること。 危険物製造所等の規制，査察指導に関すること。 液化石油ガス販売事業許可の申請に関すること。 消防法（昭和23年法律第186号）第9条の3に基づく各種届出に関すること。 危険物の火災予防に関すること。 危険物安全協会に関すること。 その他危険物に関すること。</p>

警防課	消防係	<p>消防相互応援に関する事。</p> <p>火災統計に関する事。</p> <p>警防計画、警防調査に関する事。</p> <p>出動計画に関する事。</p> <p>出動部隊の統制に関する事。</p> <p>水火災の警戒、防衛活動に関する事。</p> <p>火災原因及び損害の調査に関する事。</p> <p>消防訓練の企画・立案に関する事。</p> <p>消防協力者に関する事。</p> <p>部隊表彰の上申に関する事。</p> <p>緊急消防援助隊に関する事。</p> <p>その他警防事務に関する事。</p>
	救急救助係	<p>救急業務に関する事。</p> <p>救助業務に関する事。</p> <p>救急、救助の統計に関する事。</p> <p>応急手当の普及啓発に関する事。</p> <p>救急救助の相互応援に関する事。</p> <p>救急救助資機材の管理に関する事。</p> <p>消防職員の感染防止に関する事。</p> <p>救急医療機関との連絡調整に関する事。</p>
	情報通信係	<p>いばらき消防指令センターに関する事。</p> <p>消防情報に関する事。</p> <p>消防緊急情報システム運用に関する事。</p> <p>消防通信及び消防情報機器の整備保全に関する事。</p> <p>気象に関する事。</p> <p>災害の速報及び詳報に関する事。</p> <p>防災通信業務に関する事。</p> <p>その他情報通信事務に関する事。</p>

消防署

総務係	<p>係の総括に関する事。</p> <p>文書の発取に関する事。</p> <p>公印の管守に関する事。</p> <p>消防職員の教育訓練及びサービスに関する事。</p> <p>署の勤務に関する事。</p> <p>庁舎及び車両等の管理保全に関する事。</p> <p>消防用備品等の管理保全に関する事。</p> <p>消防団操法指導等に関する事。</p> <p>他の主管に属さない事。</p>
予防係	<p>火災予防条例に関する事。</p> <p>火災予防の普及広報に関する事。</p> <p>防火対象物等立入検査に関する事。</p> <p>一人暮らし老人の調査に関する事。</p> <p>空地、空家等の火災予防に関する事。</p> <p>住宅防火に関する事。</p> <p>自主防災組織の訓練指導に関する事。</p> <p>建築確認同意に関する事。</p> <p>民間防火組織の育成指導に関する事。</p>
消防係	<p>水火災等の警戒、防御活動及び警防対策に関する事。</p> <p>地理及び水利の調査に関する事。</p> <p>水利施設の維持管理に関する事。</p> <p>火災の調査及び報告並びに諸証明に関する事。</p> <p>防火対象物の調査に関する事。</p> <p>防火対象物の訓練指導に関する事。</p> <p>消防協力者に関する事。</p> <p>消防訓練に関する事。</p>
救急係	<p>救急業務に関する事。</p> <p>救急証明に関する事。</p> <p>救急隊員の教育訓練に関する事。</p> <p>救急業務に係る広報に関する事。</p> <p>応急手当普及啓発活動及び指導に関する事。</p>
救助係	<p>救助業務に関する事。</p> <p>救助隊員の教育訓練に関する事。</p> <p>救助業務に係る広報に関する事。</p> <p>中高層特殊建物の調査及び対策に関する事。</p> <p>高圧ガス製造所の保安管理に関する事。</p>
通信係	<p>消防情報に関する事。</p> <p>消防通信及び消防情報機器の整備保全に関する事。</p> <p>気象に関する事。</p> <p>災害の速報及び詳報に関する事。</p>

分 署

<p>消 防 第 1 係</p>	<p>分署の勤務に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 気象測定業務に関すること。 水火災等の警戒，防御活動及び警防対策に関すること。 火災の原因及び損害の調査に関すること。 その他分署に属すること。</p>
<p>消 防 第 2 係</p>	<p>救急業務に関すること。 地理及び水利の調査に関すること。 火災予防条例関係諸届出及び検査に関すること。 火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物等立入検査に関すること。 警報，注意報及び消防信号に関すること。 防火対象物の訓練指導に関すること。 庁舎内外の火気，電気，ガス及び危険物の管理に関すること。 民間防火組織の育成に関すること。</p>

出張所

<p>消 防 第 1 係</p>	<p>出張所の勤務に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 気象測定業務に関すること。 水火災等の警戒，防御活動及び警防対策に関すること。 火災の原因及び損害の調査に関すること。 その他出張所に属すること。</p>
<p>消 防 第 2 係</p>	<p>救急業務に関すること。 地理及び水利の調査に関すること。 火災予防条例関係諸届出及び検査に関すること。 火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物等の査察指導に関すること。 警報，注意報及び消防信号に関すること。 防火対象物の訓練指導に関すること。 庁舎内外の火気，電気，ガス及び危険物の管理に関すること。 民間防火組織の育成に関すること。</p>

(3) 予 算

市予算関係と消防予算の年度別比較

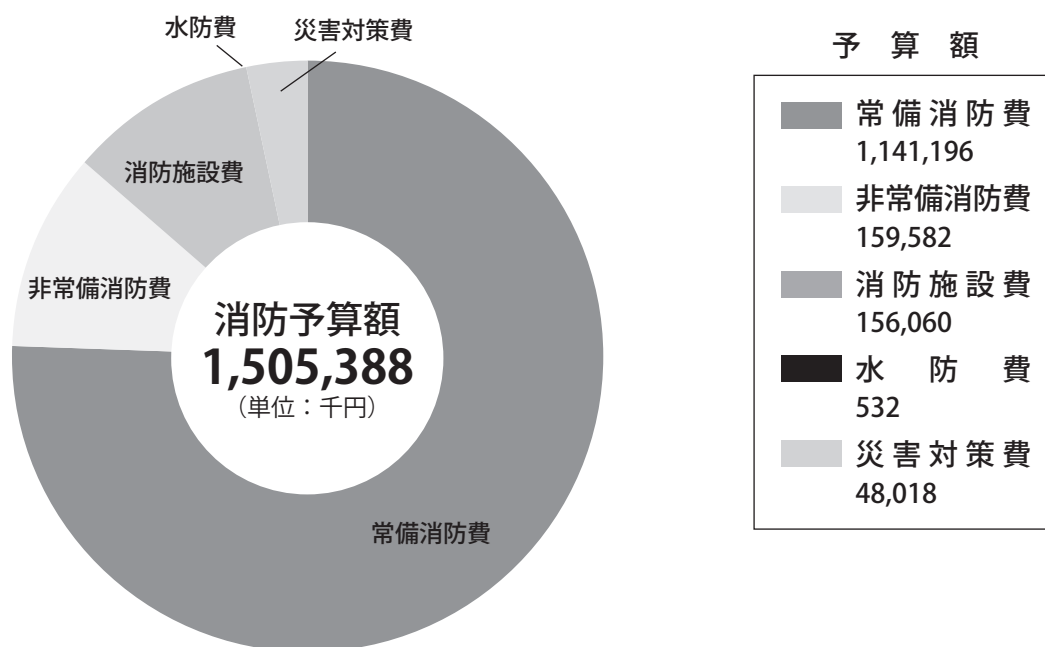
(単位：千円)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市 予 算	32,060,000	33,230,804	34,460,000	32,780,000	35,260,000
消 防 予 算	1,377,937	1,687,280	2,137,906	1,423,725	1,505,388
消防予算割合	4.3%	5.1%	6.2%	4.3%	4.3%

(小数点第1位未満四捨五入)

(消防予算内訳)

※災害対策費においては、市防災危機管理課で執行しています。



人口並びに世帯当たりの消防費の年度別比較

区 分	消 防 予 算 (千円)	人 口	世 帯 数	負 担 額 (単位：円)	
				市民一人当たり	一世帯当たり
平成30年度	1,377,937	75,755	30,723	18,190	44,851
令和元年度	1,687,280	74,939	30,876	22,516	54,647
令和2年度	2,137,906	74,286	31,205	28,880	68,512
令和3年度	1,423,725	73,293	31,403	19,426	45,338
令和4年度	1,505,388	72,281	31,478	20,827	47,824

(1円未満切り上げ)

(4) 職員配置状況

ア 消防職員配置一覧

令和4年4月1日現在

区 分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	消 防 次 長		2							2
	総 務 課		1	3(2)	2(2)	2(2)		(2)		8(8)
	予 防 課		1	1(3)	2(1)	(2)	(1)	(1)		4(8)
	警 防 課		1	2(2)	(2)	1(2)	(2)			4(8)
	派 遣			1	2					3
	計	1	5	7(7)	6(5)	3(6)	(3)	(3)		22(24)
消 防 署	石岡消防署		2	9	7	12	5	11		46
	柏原分署		1	2	3	3	2	4		15
	愛郷橋出張所			2	2	2	4	2		12
	八郷消防署		2	5	5	6	4	6		28
	山崎出張所			2	2	4	2	2		12
	計		5	20	19	27	17	25		113

()は本部兼務署員数

【派遣内訳】

いばらき消防指令センター 2人

茨城県防災・危機管理部消防安全課 1人

イ 消防吏員の年齢分布

令和4年4月1日現在

年 齢 \ 階 級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	135	1	10	27	25	30	17	25
18歳	0							
19歳	0							
20歳	3							3
21歳	5							5
22歳	5							5
23歳	8						1	7
24歳	4						1	3
25歳	3						2	1
26歳	4						4	
27歳	4						4	
28歳	2						1	1
29歳	3					3		
30歳	4					2	2	
31歳	5					4	1	
32歳	6					6		
33歳	7					6	1	
34歳	7				2	5		
35歳	2				1	1		
36歳	4				1	3		
37歳	3				3			
38歳	5				5			
39歳	2			1	1			
40歳	2				2			
41歳	3			1	2			
42歳	8			4	4			
43歳	4			2	2			
44歳	2			2				
45歳	5			4	1			
46歳	3			3				
47歳	3			3				
48歳	6		1	5				
49歳	0							
50歳	3		1	1	1			
51歳	2		2					
52歳	3		3					
53歳	0							
54歳	0							
55歳	0							
56歳	0							
57歳	3		2	1				
58歳	2	1	1					
59歳	0							

(平均年齢 35.6歳)

ウ 消防吏員の勤務年数

令和4年4月1日現在

区 分 \ 在職年数	計	5年 未満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35年 以上
職 員	135	31	24	21	18	11	18	7	5

エ 令和3年度消防職員教育研修状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

機関	種別	消防司令以上	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防大学校	幹部科	1					
茨城県立消防学校	初任教育	初任科				10	
	特別教育	水難救助課程		1			
	専科教育	救急科					2
		警防科			1		
		特殊災害科	1				
		予防査察科			1		
		火災調査科			1		
救助科			2				
救急救命研修所	救急救命士資格取得研修			1			
土浦協同病院	救急救命士就業前研修			1	1	3	
湖南病院	気管挿管病院実習(30症例)				1		
土浦地区MC協議会	気管・薬剤投与再講習		5	2			
安全運転中央研修所	消防・救急緊急自動車運転技能者課程				1		

教育機関	科名等	教育項目及び到達目標	
消防大学校	幹部科	消防に関する高度な知識及び技術を総合的に習得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材の育成	
茨城県立消防学校	初任教育	初任科	新たに採用された消防職員に対して行う基礎的教育訓練、特に、警防隊員として直ちに活動できる技能及び体力向上等の実践的な教育訓練
	特別教育	水難救助課程	水中の特殊環境下において急流救助や潜水活動に関する最新の専門的知識と高度な技能を備え救助活動を遂行する人材の育成
	専科教育	救急科	救急業務及び救急医学に関する基本的な知識、応急処置に必要な専門的知識、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備え、救急用資器材等の取扱いに精通し必要な専門的スキルを發揮できる人材の育成
		警防科	大規模化、複雑多様化する災害に対応できる専門知識を備え、災害現場において態様に応じた適切、効果的な消防戦術を指揮する人材の育成
		特殊災害科	特殊かつ異様な災害への対応を含め、安全、適切かつ効果的な消防活動に必要な特殊物質に関する専門的知識を有し、隊員の安全管理を優先して、災害の態様に応じた的確な消防活動を理解した人材の育成
		予防査察科	査察行政の現状及び課題を理解し、防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等の専門的知識を豊富に有し、査察要領を理解し、違反処理に関する専門的知識を習得し、違反対象物に対して正しく是正できる人材の育成
		火災調査科	火災調査業務に係る制度を理解し、権限を正しく執行でき、原因調査、損害調査、鑑定等に係る専門的知識を有し、的確な判断能力を持つ人材の育成
救助科	厳しい条件下において救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を有し、最新の専門的知識と高度な技能を備え、これらを活用した応用力を十分に發揮すると同時に自らの安全を確保できる人材の育成		

オ 免許・資格保有状況

令和4年4月1日現在

区 分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	計	
免許	自動車免許	大型	1	9	24	19	29[1]	12	4	98[1]
		中型		1		5		3	1	10
		中型(8トン未満)※旧普通				1				1
		普通						1	22	23
	大型特殊			2	1	1	1			5
	牽引						1	1		2
資格	特殊無線技士	第二級	1	9	26	21	3	1		61
		第三級				5	26	15	25	71
	小型船舶操縦士			1	9	5	3	2	1	21
	危険物取扱者	甲種								0
		乙種(1~6)		1	6	19	28	12	20	86
	消防設備士(乙種)									0
	潜水士			1	9	5	14	3	3	35
	玉掛け技能講習		1	7	20	9	19	7	3	66
	移動式小型クレーン運転技能講習		1	6	17	9	19	6	1	59
	ガス溶接技能講習		1	5	13	2	2			23
	チェーンソー取扱者		1	5	4	2	6	2		20
	救急救命士			5	4	11	5	6	6	37
	予防技術検定			1	7	5	7	1		21
	防災士			3	2	1				6
	足場組立等作業主任			3	2	1				6
	特定化学物質等作業主任			3	1	1				5
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習				1	1	1			3	
安全衛生推進者				1					1	

[]は二種免許取得者

2. 施設機械

(1) 消防力の分布



① 石岡市消防本部・石岡消防署			
TEL.0299-23-0119 FAX.0299-22-5895			
総務課 27-6123 予防課 27-6125 警防課 27-6126			
所在地	石岡市石岡一丁目2番地18		
建築年月日	平成14年4月1日		
面積	消防本部・署庁舎	車庫棟	高圧ガス製造所
構造	鉄筋コンクリート造3階建	鉄筋造ALC張	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	2,562.51㎡		
建築面積	827.95㎡	105.00㎡	6.0㎡
延面積	2,365.41㎡	105.00㎡	6.0㎡

② 石岡消防署柏原分署・石岡市消防総合訓練所			
TEL.0299-35-0119 FAX.0299-35-0199			
所在地	石岡市鹿の子四丁目5番3号		
建築年月日	平成4年3月7日		
面積	分署庁舎	訓練棟A棟	訓練棟B棟 備蓄倉庫
構造	鉄骨造2階建	鉄骨造5階建	鉄骨造2階建 鉄骨造平屋建
敷地面積	5,656.00㎡		
建築面積	312.84㎡	30.91㎡	32.51㎡ 72.00㎡
延面積	599.40㎡	154.56㎡	64.40㎡ 72.00㎡

③ 石岡消防署 愛郷橋出張所	
TEL.0299-26-0119 FAX.0299-26-0199	
所在地	石岡市三村6921番地1
建築年月日	令和13年3月23日
構造	鉄骨造平屋建
敷地面積	4,913.85㎡
建築面積	570.55㎡
延面積	544.38㎡

④ 八郷消防署	
TEL.0299-43-6491 FAX.0299-43-6641	
所在地	石岡市柿園291番地
建築年月日	昭和52年11月30日
構造	鉄骨コンクリート2階建
敷地面積	2,764.56㎡
建築面積	295.885㎡
延面積	444.285㎡

⑤ 八郷消防署 山崎出張所	
TEL.0299-28-9119 FAX.0299-46-7313	
所在地	石岡市山崎906番地35
建築年月日	平成16年11月15日
構造	鉄骨造平屋建
敷地面積	1,169.00㎡
建築面積	275.35㎡
延面積	270.99㎡

(2) 消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防ポンプ自動車、救助工作車などの特殊消防自動車、その他の車両、消防舟艇を管内に配置しています。

<p style="text-align: center;">化学消防車</p>  <p>化学消火薬剤を混合するため1,300ℓの水槽と500ℓの薬液槽があり、泡放射が可能です。放水銃、耐熱服等の様々な資器材を装備しています。また、放水銃の搭載により大量放水ができるようになっています。</p>	<p style="text-align: center;">水槽付ポンプ車</p>  <p>火災現場において主力となり2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を使用することなく消火活動を行うことができます。CAFS※を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部CAFS未装備車有)</p>	<p style="text-align: center;">普通ポンプ車</p>  <p>主に水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、CAFS※と600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部CAFS未装備車有)</p>
<p style="text-align: center;">梯子車 (30m 級)</p>  <p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。梯子は長さ30m、起立角度は75度から-10度まで可動し、高所だけでなく、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合にも有効です。</p>	<p style="text-align: center;">救助工作車 (Ⅲ型)</p>  <p>火災、交通事故、水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多くクレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>	<p style="text-align: center;">高規格救急車</p>  <p>救急救命士や救急隊員が、傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し、救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>

※CAFSとは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることにより効率良く消火することができます。

指揮車	可搬ポンプ積載車	救助艇
 <p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信機器等を装備しています。</p>	 <p>車両侵入不可の狭隘な場所や河川での水利部署を可能にする可搬ポンプを積載している他、災害種別に応じて必要な資器材を現場へ迅速に搬送することができます。</p>	 <p>河川・湖にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。</p>

特記

石岡消防署愛郷橋出張所
令和3年6月10日 供用開始



施設概要

所在地 / 石岡市三村 6921 番地 1
 構造 / 鉄骨造
 敷地面積 / 4,913.85 m²
 建築面積 / 570.55 m²
 延べ床面積 / 544.38 m²
 階数 / 平屋建て

施設特徴

- ヘリコプター離発着場
ドクターヘリや防災ヘリが離発着可能な敷地面積
- 消防団訓練施設の充実
庁舎北側に外灯を設置し、夜間の訓練施設として使用可能
- 非常用発電装置
外部からの供給なしで約 72 時間運用可能
- 仮眠室の個室化
職場環境の向上を目的に、プライバシー保護に配慮した個室化

(3) 消防車両等配置状況

令和4年4月1日現在

区分 配置場所	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学消防車	消防子車	救助工作車	積載ポンプ車	広報車	高規格救急車	指揮車	救助艇	連絡車	その他の車両	合計
消防本部									1		4		5
石岡消防署	1		1	1	1	1		2	1				8
柏原分署	(1)	1						1			1		3(1)
愛郷橋出張所	1						1	1		1		1	5
八郷消防署	1	1(1)						1	1				4(1)
山崎出張所	1						1	1					3
合計	4(1)	2(1)	1	1	1	1	2	6	3	1	5	1	28(2)

()予備車

(消防車両等の内訳)

令和4年4月1日現在

配置場所	種別	緊急消防援助隊登録	初年登録年度	備考
消防本部	指揮車		H25	
	連絡車(アクティ)		H17	
	連絡車(ハイゼット)		H30	
	連絡車(プロボックス)		H21	石岡市危険物安全協会寄贈
	連絡車(ハイゼットトラック)		R 1	石岡市危険物安全協会寄贈
石岡消防署	指揮車		H12	
	化学消防車	○	H26	
	普通ポンプ車		H28	
	梯子車(30m級)	○	H15	
	可搬ポンプ積載車	○	H15	日本消防協会寄贈
	救助工作車(Ⅲ型)		H19	
	高規格救急車		H25	
柏原分署	高規格救急車		R 3	
	普通ポンプ車		H 9	予備車
	水槽付ポンプ車	○	H28	
	連絡車(カローラバン)		H 7	
愛郷橋出張所	高規格救急車		H26	
	普通ポンプ車		H19	
	広報車		H11	
	高規格救急車	○	H24	
	救助艇		H12	
八郷消防署	マイクローバス		R 3	
	指揮車		H17	
	水槽付ポンプ車	○	H18	
	普通ポンプ車		H27	
	高規格救急車		H29	
山崎出張所	水槽付ポンプ車		H 9	予備車
	普通ポンプ車		H25	
	広報車		H 8	
	高規格救急車		H27	

(4) 消防水利の状況

令和4年4月1日現在

消防水利	消 火 栓	1,360
	防 火 水 槽	1,147
	そ の 他	114
合 計		2,621

(私設水利含む)

(消防水利内訳)

消 防 水 利			公 設	私 設	合 計
消 火 栓	配 管 口 径	75mm未満	11		11
		75mm以上 150mm未満	813	3	816
		150mm以上	533		533
	消 火 栓 合 計		1,357	3	1,360
防 火 水 槽	容 量	40 m ³ 未 満	501	13	514
		40 m ³ 以 上	589	44	633
	防 火 水 槽 合 計		1,090	57	1,147
そ の 他 水 利	貯 水 池 等		17		17
	プ ー ル		30	3	33
	河 川		64		64
	そ の 他 水 利 合 計		111	3	114
消 防 水 利 施 設 合 計			2,558	63	2,621

第二章 予 防

1. 火災予防

(1) 主な火災予防の行事

(単位：人)

事業名	期日	実施内容	参加人員
火災予防運動	11月9日～15日	秋季全国火災予防運動 (ポスター配布、広報、立入検査)	
	(令和4年) 3月1日～7日	春季全国火災予防運動 (ポスター配布、広報)	
住宅用火災警報器 設置強化月間	6月6日	住宅用火災警報器設置促進活動及び設置率調査	103
	11月1日～30日	住宅用火災警報器設置促進活動及び設置率調査 (市内小学校)	213
	(令和4年) 3月1日～31日	住宅用火災警報器設置促進活動及び設置率調査 (市内小学校)	228
防火思想の普及	11月4日・5日	甲種防火管理新規講習会	38
	7月2日～9月30日	火災予防ポスター作品募集 (少年消防クラブ)	177
	11月8日～16日	火災予防ポスター展 (石岡市役所及び八郷総合支所にて推薦作品を展示)	60
	(令和4年) 1月26日	文化財防火デーに伴う火災予防通知文配布 (文化財21件)	

(2) 立入検査

区分	令和2年度 件数	違反数	是正数	令和3年度 件数	違反数	是正数
防火対象物	74	16	6	112	56	8
危険物施設	24	3	2	31	5	4

2. 防火対象物状況

(1) 消防用設備等を必要とする防火対象物の状況

令和4年3月31日現在（単位：棟）

防火対象物		区分	1,000㎡未満	1,000㎡以上	計
一	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	0	1	4
	ロ	公会堂又は集会場	67	13	80
二	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ類	1		1
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	7	11
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	1		1
	ニ	カラオケボックス等個室ビデオ	3		3
三	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2		2
	ロ	飲食店	93		93
四		百貨店、マーケット、店舗、展示場	113	40	153
五	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	11	4	15
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	259	29	288
六	イ	病院、診療所又は助産所	38	15	53
	ロ	自力避難困難者が入所する社会福祉施設	31	41	72
	ハ	上記ロ以外の「社会福祉施設」	65	3	68
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	3	8
七		小、中、高、大学校、各種学校	35	39	74
八		図書館、博物館、美術館類	29	1	30
九	イ	蒸気浴場、熱気浴場に類する公衆浴場	1	1	2
	ロ	(イ)に掲げる以外の公衆浴場			0
十		車両の停車場	1		1
十一		神社、寺院、教会類	29		29
十二	イ	工場又は作業場	254	122	376
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			0
十三	イ	車庫又は駐車場	2	3	5
	ロ	飛行機の格納庫			0
十四		倉庫	152	24	176
十五		前各項に該当しない事業所	231	50	281
十六	イ	特定用途部分が有る複合用途対象物	82	24	106
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物	39	13	52
十七		重要文化財、民俗資料史跡等	10		10
合 計			1,561	433	1,994

3. 予防事務処理状況

(1) 法令関係

令和3年4月1日～令和4年3月31日

種 別	件 数
防火管理者選任（解任）届出	115
消防計画届出	139
消防用設備等点検結果報告書	643
消防用設備等着工届出	74
消防用設備等設置届出	203
消防用設備等検査済証交付	82
防火対象物点検報告届出	52
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱	27
合 計	1,335

(2) 火災予防条例関係

種 別	件 数
防火対象物使用開始届出	49
火を使用する設備等の設置届出	8
変電・発電・蓄電池設備設置届出	27
少量危険物貯蔵取扱届出	26
少量危険物廃止届出	8
火災と紛らわしい行為の届出	110
催物開催届出	5
道路工事届出	240
水道断水減水届出	6
煙火打上げ届出	13
禁止行為の解除承認申請	13
指定可燃物貯蔵取扱届出	8
露店等の開設届出	7
合 計	520

(3) 建築確認に対する消防同意関係

種 別	件 数
新 築	66
増 築	6
そ の 他	5
合 計	77

4. 危険物

(1) 危険物製造所等の施設数

令和4年3月31日現在

区分	製造所	貯蔵所							取扱所				合計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	(自家用) 販売取扱所	一般取扱所	(詰替)		
	1	41	18	2	59	0	22	5	55	27	0	42	8	245

(2) 数量別危険物施設状況

令和4年3月31日現在

区分 倍数	製造所	貯蔵所							取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
5倍以下		12	4	1	38		15	4	4		13	91
5倍を超え10倍以下		11	4	1	6		1	1	7		19	50
10倍を超え50倍以下		16	7		9		4		18		10	64
50倍を超え100倍以下	1	1	3		3		2		9			19
100倍を超え150倍以下					3				6			9
150倍を超え200倍以下									4			4
200倍を超え1,000倍以下		1							7			8
1,000倍を超え5,000倍以下												0
合計	1	41	18	2	59	0	22	5	55	0	42	245

(3) 危険物事務処理状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区分 申請届出別		製造所	貯蔵所						取扱所			その他	計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所			一般取扱所
許可	設置							1		1		1		3
	変更									12		9		21
完成検査	設置							1		1		1		3
	変更							1		12		9		22
検査	水圧												1	1
	水張													0
承認	仮貯蔵													0
	仮取扱												5	5
	仮使用									12		10		22
認可	予防規程									1		1		2
届出	廃止			1				1				3		5
	譲渡		1	2		1		2	2	1		1		10
	数量倍数変更		2									1		3
	保安監督者	選任		3	3						6		2	
解任														0
資料提出等			6	3		12				9		9		39

予防

5. 防火広報協力団体一覧

防火広報協力団体

令和4年4月1日現在

名 称	設 立 年 月 日	会 員 数
石岡市危険物安全協会	昭和34年7月23日	125 名
石岡市幼少年女性防火委員会（13団体）	昭和54年11月21日	274 名

（石岡市幼少年女性防火委員会内訳）

名 称	設 立 年 月 日	会 員 数
石岡小学校少年消防クラブ	昭和54年11月26日	15 名
府中小学校少年消防クラブ	昭和54年11月26日	4 名
石中学区女性防火クラブ	昭和54年12月3日	17 名
三村小学校少年消防クラブ	昭和55年7月1日	13 名
柿岡小学校少年消防クラブ	昭和55年11月18日	20 名
八郷女性防火クラブ	昭和55年11月18日	12 名
石岡幼稚園幼年消防クラブ	昭和57年7月3日	53 名
園部小学校少年消防クラブ	昭和59年7月5日	31 名
小桜小学校少年消防クラブ	昭和59年7月13日	15 名
やさと中央保育所幼年消防クラブ	昭和59年12月21日	60 名
府中学区女性防火クラブ	昭和63年12月8日	13 名
石岡東女性防火クラブ	平成7年7月29日	12 名
府中ひまわり女性防火クラブ	平成9年6月22日	9 名

第三章 警 防

1. 火 災

(1) 月別火災発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数(件)	3	4	3	4	0	1	1	1	2	1	2	3	25
火災種別	建 物(件)	3		2	3		1		2	1	1	2	15
	林 野(件)											1	1
	車 両(件)		1	1	1			1			1		5
	その他(件)		3					1					4
焼損程度棟数	全 焼(棟)				1				4	1		2	7
	半 焼(棟)	1							1			1	3
	部分焼(棟)	2			2							5	9
	ぼ や(棟)		1	2	1		1		1	1	1		8
罹災世帯	全損(世帯)	1			1				1			1	4
	半損(世帯)								2				2
	小損(世帯)			2	1					1		1	5
罹災人員(人)	3		3	3				6	2		5	22	
死傷者	死 者(人)			1									1
	傷 者(人)				1				1		1		3
焼損面積	建 物(m ²)	946		46	85				277			376	1,730
	林 野(a)											2	2
	その他(a)		22										22
損害見積額(千円)	建 物	148,934		46	2,624		38		10,200	7	15	24,459	186,323
	林 野												0
	車 両		30	480	1,119			20			1,246		2,895
	そ の 他		162										162
	合 計	148,934	192	526	3,743	0	38	0	20	10,200	7	1,261	24,459

※建物の焼損面積については、床面積とする。

(2) 用途又は出火物件

令和3年1月1日～令和3年12月31日

種 別	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建 物 火 災	住 宅	1		2	2				1	1		2	9
	納 屋				1								1
	店 舗												0
	倉 庫	1											1
	工 場	1											1
	共同住宅												0
	そ の 他						1		1		1		3
林 野											1	1	
車 両		1	1	1				1			1	5	
そ の 他		3					1					4	
合 計	3	4	3	4	0	1	1	1	2	1	2	3	25

(3) 時間・原因別火災発生状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

原因別	時間別												計
	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	
たき火の火の粉								1					1
た き 火							1						1
石油ストーブ											1		1
簡易型ガスコンロ								1					1
帯電衣類のスパーク									1				1
内 燃 機 関						1							1
液化石油ガスを用いる固定したガス設備					1								1
掃 除 機												1	1
その他の配線器具								1					1
蓄 電 池					1								1
か ん な 屑						1							1
ごみ焼却炉の火の粉								1					1
テーブルタップ										1			1
火のついたゴミ								1					1
煙 突									1				1
交通機関内配線								1					1
石油バーナー				1									1
研磨機の火花								1					1
放 火								1					1
放火の疑い							1						1
不 明	1	1				1		1	1				5
合 計	1	1	0	1	2	3	2	9	3	1	1	1	25

(4) 過去5力年の出火原因

原因別	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
ガスバーナー				1		
石油バーナー						1
ガスこんろ(ガステーブル含む)		2	1	1	1	
簡易型ガスこんろ		1				1
テーブルタップ			1			1
電気コンロ			1			
溶接機・切断機					1	
石油ストーブ			1	1		1
電気ストーブ				1		
電気こたつ		1				
排気管突		1			1	
煙イライ		1		1		1
送風機						
掃除機						1
たばこ			1	3		
たき火			4	2	1	1
枯れ草焼				2	1	
たき火の火の粉		1	1		2	1
衝撃の火花						1
研磨機の火花						1
帯電衣類のスパーク						1
内燃機関					1	1
その他の配線器具			1			1
屋内配線						
接続器		1				
液化石油ガスを用いる固定したガス設備						1
配電線(高圧)			1		1	
コンデンサー(低圧)				1		
蓄電池						1
消し炭薪					1	
てんぷら鍋						
変電設備内配線		1				
枯草焼却中の飛火						1
ごみ焼却炉の火の粉						1
漏電					1	
かんな屑						1
火のついたゴミ				1		1
その他の裸火			1		1	
車体等の衝撃火花		1				
エンジン					1	
風呂かまど			1		1	
その他のまき(炭窯)				1		
取炭					1	
ハンドトーチ					1	
発電機(オルタネーター)					1	
バッテリー					1	
交通機関内配線					1	1
ブレーキライニング					1	
炭火					1	
線香				1		
その他のレンジ				1		
放火				1	2	1
放火の疑い			6	4	7	1
不明		9	9	4	2	5
合計		19	29	26	32	25

(5) 警防隊の訓練や講習会

火災、救急、救助等の多種多様な災害に対応するため、年間を通じて各種訓練等を行い災害対応力の向上に努めています。

ここでは、令和3年度中における主な訓練や講習会をご紹介します。

1 警防技術訓練

火災防ぎょ体制の強化並びに若年層職員の早期教育を図るとともに、現場活動における部隊能力向上のため訓練を実施しています。



2 神経剤解毒剤自動注射器取扱い講習会

東京オリンピック開催に伴い、想定しうる化学(神経剤)テロに対抗するため、病院内にいる医師や看護師ではなく、ファーストレスポnder(現場対応者)である私達が、神経剤解毒剤投与の早期使用の有効性や、投与の際に使用する自動注射器の使用方法を熟知し、迅速かつ的確な現場活動を遂行する為、インストラクター資格を有する当消防本部職員による講習会を開催しました。



3 山岳救助合同訓練

隣接消防本部及び茨城県防災航空隊との連携を強化し、消防力の充実を図ることを目的として石岡市上曾地内足尾山において訓練を行いました。



4 救急技術訓練

救急隊員に求められることは日々高度化しています。救急救命士を含む救急隊員の生涯教育の一環として、処置や判断能力の向上と更なる救急業務充実を図るために訓練を実施しています。



2. 救 急

(1) 救急出動状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 別	種 別 区 分	合 計	救 急 事 故 種 別												不 搬 送	
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
1	出動件数(件)	292	3			19	2		40	1	2	191	23		11	
	搬送件数(件)	259				18	2		39	1	1	175	23			33
	搬送人員(人)	263				21	2		39	1	1	176	23			
2	出動件数(件)	261	1			18	1	1	35		2	165	25		13	
	搬送件数(件)	234				17	1	1	33		2	153	25		2	27
	搬送人員(人)	236				19	1	1	33		2	153	25		2	
3	出動件数(件)	268	2			22	6		36	1	2	159	33		7	
	搬送件数(件)	240				20	6		34	1	1	145	33			28
	搬送人員(人)	243				23	6		34	1	1	145	33			
4	出動件数(件)	294	2			23	6		36	4	3	186	27		7	
	搬送件数(件)	260				18	6		32	4	3	170	27			34
	搬送人員(人)	261				19	6		32	4	3	170	27			
5	出動件数(件)	262				19	3	1	39		2	182	13		3	
	搬送件数(件)	241				17	3	1	36		2	169	13			21
	搬送人員(人)	243				19	3	1	36		2	169	13			
6	出動件数(件)	273				20	4		37	1		180	28		3	
	搬送件数(件)	248				17	4		35			164	28			25
	搬送人員(人)	255				23	4		36			164	28			
7	出動件数(件)	301				17	2		45		2	201	20		14	
	搬送件数(件)	264				10	2		43		1	188	20			37
	搬送人員(人)	265				11	2		43		1	188	20			
8	出動件数(件)	313	1			16	3		48	1	4	206	22		12	
	搬送件数(件)	273				11	3		42	1	3	191	22			40
	搬送人員(人)	273				11	3		42	1	3	191	22			
9	出動件数(件)	280	2			25	1		32	1	4	182	28		5	
	搬送件数(件)	251	1			22	1		31		2	166	28			29
	搬送人員(人)	255	1			26	1		31		2	166	28			
10	出動件数(件)	284				17	5	1	36		3	192	21		9	
	搬送件数(件)	253				14	5	1	33		1	178	21			31
	搬送人員(人)	253				14	5	1	33		1	178	21			
11	出動件数(件)	273	2			21	2	1	44		1	173	22		7	
	搬送件数(件)	246	1			17	2	1	40		1	162	22			27
	搬送人員(人)	246	1			17	2	1	40		1	162	22			
12	出動件数(件)	333	3			29	4	1	58	1	5	198	25		9	
	搬送件数(件)	283				24	4	1	51	1	4	173	25			50
	搬送人員(人)	284				25	4	1	51	1	4	173	25			
総 数	出動件数(件)	3,434	16	0	0	246	39	5	486	10	30	2,215	287	0	100	
	搬送件数(件)	3,052	2	0	0	205	39	5	449	8	21	2,034	287	0	2	382
	搬送人員(人)	3,077	2	0	0	228	39	5	450	8	21	2,035	287	0	2	

(2) 曜日別・事故種別出動件数

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 曜日	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他			
											転院搬送	医師搬送		そ の 他
月 曜				30	9		75		8	356	58		19	555
火 曜	3			25	6	1	72		8	335	44		12	506
水 曜	4			39	6	1	72		5	301	55		9	492
木 曜	4			42	5		58		1	327	46		16	499
金 曜	2			30	8	1	63	2	2	288	34		10	440
土 曜	2			44	3	2	78	3	4	301	38		18	493
日 曜	1			36	2		68	5	2	307	12		16	449
合 計	16	0	0	246	39	5	486	10	30	2,215	287		100	3,434

(3) 傷病程度別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 傷病程度	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他			
											転院搬送	医師搬送		そ の 他
死 亡				3			2		1	57				63
重 症				8	2		60		2	162			47	281
中 等 症				33	15	1	123	1	9	861			204	1,247
軽 症	2			184	22	4	265	7	9	955			38	1,486
そ の 他														
合 計	2			228	39	5	450	8	21	2,035			289	3,077

- ※ (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものを言う。
 (2) 重症とは、傷病程度が三週間の入院加療を必要とするもの以上を言う。
 (3) 中等症とは、重症又は軽症以外のものを言う。
 (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものを言う。
 (5) 傷病程度の「その他」は歯科医院等に搬送したものを言う。

(4) 署所別救急出動及び搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 区分	合計	救急事故種別												不搬送		
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		その他	
出動件数																
石岡	1,254	8			77	7	3	184	3	8	762	159		43	141	
柏原	629	7			66	11	1	71	5	8	406	41		13	77	
愛郷橋	390				30	7		61	2	3	254	24		9	37	
八郷	647				42	7		114		4	449	19		12	55	
山崎	514	1			31	7	1	56		7	344	44		23	72	
計	3,434	16			246	39	5	486	10	30	2,215	287		100	382	
搬送人員																
石岡	1,119	1			73	7	3	168	2	7	699	159				
柏原	558	1			62	11	1	65	5	5	367	41				
愛郷橋	357				31	7		55	1	2	237	24				
八郷	600				37	7		112		3	422	19				
山崎	443				25	7	1	50	4		310	46				
計	3,077	2	0	0	228	39	5	450	12	17	2,035	289				

(5) 事故種別・年齢別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

事故種別 年齢区分	救急事故種別												計		
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
											転院搬送	医師搬送		その他	
新生児										3				3	
乳幼児				3				32			55			2	92
少年				28		4	19				43			2	96
成人	2			129	26	1	97	5	20	550			92	922	
老人				68	13		302	3	1	1,384			193	1,964	
合計	2			228	39	5	450	8	21	2,035			289	3,077	

(6) 発生場所別搬送人員

令和3年1月1日～令和3年12月31日

区分	発生場所別					計
	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	
急病	1,521	409	46	45	14	2,035
交通	2	11		213	2	228
一般負傷	291	95	4	43	17	450
その他	29	294	36	2	3	364
計	1,843	809	86	303	36	3,077

(7) 救急講習会実施状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

区 分	回 数	参加人数
一 般 講 習	1	10
普 通 救 命 講 習 I	20	167
普 通 救 命 講 習 II	0	
普 通 救 命 講 習 III	3	9
救 命 入 門 コ ー ス	4	102
合 計	28	288

(8) 救急救命士配置状況

令和4年4月1日現在

署所別 階 級	消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所	合 計
消防司令長	3	1			1		5
消防司令	1	1			1	1	4
消防司令補		3	3	2	4	1	13
消防士長		3	1		1		5
消防副士長		2		2	1	1	6
消 防 士		1	3	1		1	6
合 計	4	11	7	5	8	4	39

3. 救 助

(1) 救助出動状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件／人)

区 分	事 故 種 別										合 計
	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
	建 物	そ の 他									
出 動 件 数	6	1	27	2			1			25	62
救 出 人 員	1	1	11	1			1			18	33

(2) 行 事

令和3年1月1日～令和3年12月31日

月 日	実 施 項 目	場 所	参加人員	備 考
7月8・9日	解毒剤自動注射器研修	石岡市消防本部	78	
10月6日	消防職員専科教育第32期救助科講師	茨城県立消防学校	1	
11月25・26日	山岳救助合同訓練	足尾山山林	27	筑西広域消防本部合同
12月13日	第24回全国消防救助シンポジウム	石岡消防署オンライン	15	

(3) 訓練状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：回／人)

訓練種別 区 分	体 力 練 成	ロープ 結 索	検 索 救 助	器 具 扱 扱	救 助 定 定	水 難 救 助	梯子車	その他	合 計
実施回数	55	66	7	30	31	5	12	11	217
実施延人員	527	779	26	124	131	18	52	42	1,699

(4) 救助隊員配置状況

令和4年4月1日現在

署所別 階 級	合 計	専任救助隊 (兼任)		兼 任 救 助 隊			
		消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所
消 防 司 令	2	1	1				
消防司令補	2		1			1	
消 防 士 長	12		8			4	
消防副士長	4		1	2		1	
消 防 士	9		5			3	1
合 計	29	1	16	2	0	9	1

4. 情報通信

(1) 災害覚知別受信状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件)

種 別	着信件数	119専用回線			その他
		N T T 固 定 電 話	I P 電 話	携 帯 電 話	加 入 電 話 等
火 災	56	15	9	28	4
救 急	3,287	653	945	1,360	329
救 助	51	17	7	23	4
その他災害	106	25	14	46	21
病院問合せ	1,149	29	42	166	912
通 報 訓 練	351	76	3	5	267
そ の 他	218	47	21	150	0
合 計	5,218	862	1,041	1,778	1,537

※種別その他…災害問合せ、間違い、いたずら等

(2) 緊急通報システム受信状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(単位：件)

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救 急	3	5	3	5	4	3	6	9	6	3	25	9	81
救 助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の災害	0	1	1	2	0	0	2	0	0	1	5	0	12
相 談	1	0	0	2	1	9	0	0	1	4	0	6	24
電池切れ	6	1	0	1	3	7	2	21	5	3	5	8	62
テスト通報	20	27	184	11	0	14	0	0	6	0	2	29	293
そ の 他	17	4	7	14	7	8	8	6	5	14	13	7	110
合 計	47	38	195	36	15	41	18	36	23	25	50	59	583

(3) 気象年報

令和3年1月1日～令和3年12月31日
(標高33m)

月	平均風速 (m/s)	平均風向	最大瞬間 風速 (m/s)	月平均 気温 (℃)	月平均 相対湿度 (%)	実効湿度 (%)	10分最大 雨量 (mm)	月積算 雨量 (mm)
1	0.7	北西	12.3	3.6	61.0	61.6	0.5	28.0
2	0.9	西北西	15.2	6.4	51.1	51.6	7.0	62.5
3	1.2	北東	16.1	11.1	65.1	63.6	3.5	124.5
4	1.5	北東	14.7	13.6	61.9	62.1	9.0	138.0
5	1.5	南南西	15.5	18.7	73.3	72.9	2.5	73.5
6	1.2	北東	13.0	13.0	77.3	76.6	2.0	81.0
7	1.1	北東	9.9	25.4	81.7	82.2	9.0	190.0
8	1.5	南南西	17.8	26.9	80.4	80.7	11.5	251.5
9	1.2	北東	9.8	21.6	80.9	80.9	5.5	92.0
10	0.9	北北西	12.4	17.1	78.4	78.6	2.5	132.5
11	0.6	南西	8.6	11.8	72.6	73.0	4.5	49.5
12	0.7	北西	12.3	5.9	66.1	67.0	8.5	132.0

(4) 119番通報入電から緊急出動まで

現在の社会情勢や自然環境の変化に伴い複雑・多様化する災害に迅速・的確に対応するため、県内20消防本部（33市町）は、水戸市内原町にある「いばらき消防指令センター」における消防指令業務の共同運用を平成28年6月から開始し、当石岡市管内の119番通報の受信場所も「いばらき消防指令センター」となりました。

県内33市町村の119番通報がいばらき消防指令センターにつながります。



いばらき消防指令センター

通報内容から要請場所を特定し、最寄りの消防署に出動指令をかけます。



管轄担当署所

各災害に対応した消防車や救急車を出動させます。



消防車



救急車



火災



救急

早期に医療介入が必要と判断した場合、ドクターヘリやドクターカーを要請します。



ドクターヘリ

地上からの救助活動が困難な場合、防災ヘリを要請し共に活動します。



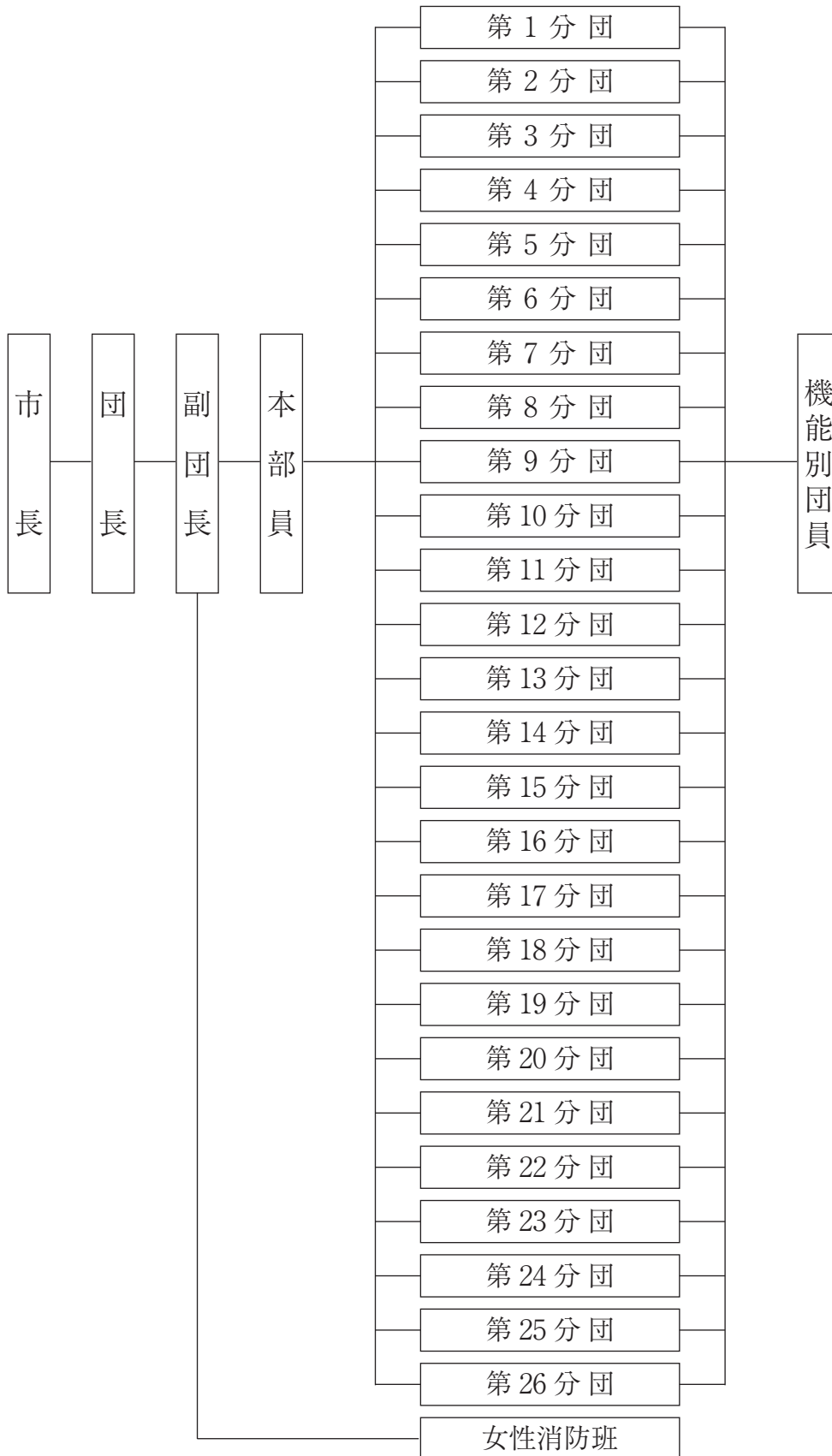
茨城県防災ヘリ

第四章 消防团

1. 庶務

(1) 消防団の組織図

令和4年4月1日現在



消防団

(2) 団員関係

令和4年4月1日現在

ア 消防団分団別人員配置状況

分団	階級	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班長	団員	団員 (機能別)	計
消防団本部		1	4	7						12
女性消防班							1	15		16
第1分団					1	1	3	10	2	17
第2分団					1	1	3	10	2	17
第3分団					1	1	3	9	2	16
第4分団					1	1	3	10	2	17
第5分団					1	1	3	8	1	14
第6分団					1	1	3	10		15
第7分団					1	1	3	9	2	16
第8分団					1	1	3	10	1	16
第9分団					1	1	3	12		17
第10分団					1	1	3	11		16
第11分団					1	1	4	14		20
第12分団					1	1	5	16		23
第13分団					1	1	5	17		24
第14分団					1	1	5	15		22
第15分団					1	1	5	15		22
第16分団					1	1	5	7		14
第17分団					1	1	5	18		25
第18分団					1	1	5	15	1	23
第19分団					1	1	5	10	2	19
第20分団					1	1	5	12	2	21
第21分団					1	1	5	14		21
第22分団					1	1	5	13		20
第23分団					1	1	5	19		26
第24分団					1	1	5	18	2	27
第25分団					1	1	5	11		18
第26分団					1	1	4	3		9
合計(人数)		1	4	7	26	26	109	331	19	523

イ 階級別年齢状況

令和4年4月1日現在

年齢	階級	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班長	団員	団員 (機能別)	計
18 ~ 20										0
21 ~ 25								10		10
26 ~ 30								38		38
31 ~ 35							1	83		84
36 ~ 40						1	23	85		109
41 ~ 45					8	10	41	66	1	126
46 ~ 50					5	5	33	42	3	88
51 ~ 55				1	8	9	11	5	5	39
56 ~ 60				5	4	1		2	7	19
61歳以上		1	4	1	1				3	10
合計		1	4	7	26	26	109	331	19	523

ウ 在職年数消防団員数

令和4年4月1日現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
団員数	105	134	137	74	39	20	14	523

(3) 消防団員の報酬・費用弁償

ア 消防団員年額報酬

令和4年4月1日現在

職名	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	機能別団員
金額(円)	90,000	70,000	50,000	46,000	38,000	36,500	10,000

イ 消防団員出動報酬及び費用弁償

令和4年4月1日現在

種別	支給区分	金額(円)	摘要
災害(4時間以上)	出動報酬 (1日につき)	8,000	災害のため職務に従事した者に支給する。
災害(2時間以上)		4,000	
災害(2時間未満)		2,000	
警戒		2,000	
訓練		1,100	災害に関する訓練に従事した者に支給する。
その他		1,100	行事及び会議並びに火災予防、救急等の啓発(講習を含む。)に従事した者に支給する。
賄い	費用弁償 (1食につき)	1,000	現金支給は行わない。

2. 施設機械

(1) 消防団詰所(車庫)概要

令和4年4月1日現在

所 属	所 在 地	建 物 構 造	延面積㎡	建築年度
団 本 部	石岡市府中二丁目726番地1	鉄 骨 平 屋 建	19.30	S60
第 1 分 団	石岡市若宮一丁目3番43号	鉄 骨 2 階 建	44.52	S56
第 2 分 団	石岡市府中三丁目8番10号	鉄 骨 2 階 建	47.62	S57
第 3 分 団	石岡市国府五丁目2番17号	鉄 骨 2 階 建	48.12	S63
第 4 分 団	石岡市国府六丁目3番1号	鉄 骨 2 階 建	48.12	S60
第 5 分 団	石岡市染谷960番地4	鉄 骨 2 階 建	80.00	H9
第 6 分 団	石岡市杉並四丁目5番23号	鉄 骨 2 階 建	88.00	H12
第 7 分 団	石岡市東光台二丁目2番18号	鉄骨2階建(鉄骨平屋建)	48.12/28.00	S60/H16
第 8 分 団	石岡市高浜797番地	鉄 骨 2 階 建	66.11	H4
第 9 分 団	石岡市三村7626番地 1	鉄 骨 2 階 建	80.00	H7
第 10 分 団	石岡市井関38番地 1	鉄 骨 2 階 建	80.00	H7
第 11 分 団	石岡市柿岡2009番地3	鉄 骨 2 階 建	88.81	H19
第 12 分 団	石岡市片野642番地	C B 造(車庫のみ)	22.94	S46
	石岡市柿岡4425番地2	C B 造(車庫のみ)	23.82	S48
第 13 分 団	石岡市小幡3280番地1	鉄 骨 平 屋 建	86.04	H17
第 14 分 団	石岡市須釜1372番地1	C B 造(車庫のみ)	21.94	S46
	石岡市下青柳929番地2	C B 造(車庫のみ)	23.36	S49
第 15 分 団	石岡市吉生748番地	C B 造(車庫のみ)	23.28	S43
	石岡市上曾1195番地	C B 造(車庫のみ)	23.23	S62
第 16 分 団	石岡市鯨岡415番地1	鉄 骨 平 屋 建	57.96	H17
第 17 分 団	石岡市大塚3032番地	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
	石岡市大増3606番地	鉄 骨 2 階 建	105.01	H7
第 18 分 団	石岡市小見818番地1	C B 造 2 階 建	48.50	S53
	石岡市太田838番地5	C B 造 2 階 建	43.06	S55
第 19 分 団	石岡市瓦谷449番地	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
第 20 分 団	石岡市宇治会308番地3	C B 造 2 階 建	50.18	S51
	石岡市瓦谷908番地3	C B 造 2 階 建	46.25	S46
第 21 分 団	石岡市山崎1694番地1	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
第 22 分 団	石岡市東成井904番地	C B 造平屋別棟	54.81	S47
	石岡市東成井1978番地8	C B 造平屋別棟	60.37	S56
第 23 分 団	石岡市根小屋1666番地	C B 造(車庫のみ)	23.48	S52
	石岡市下林857番地	C B 造(車庫のみ)	24.34	S50
第 24 分 団	石岡市下林496番地12	C B 造 2 階 建	46.90	S46
	石岡市片岡826番地3	C B 造 2 階 建	23.52	S50
第 25 分 団	石岡市半田320番地2	C B 造 2 階 建	48.80	S54
	石岡市川又1187番地	C B 造(車庫のみ)	23.68	S55
第 26 分 団	石岡市月岡878番地	C B 造(車庫のみ)	27.23	S55
	石岡市菖蒲沢307番地1	C B 造(車庫のみ)	23.40	S56

(2) 消防団機動力

消防活動に欠かせない消防団車両などの消防機械は、消防団本部車、消防ポンプ自動車、小型ポンプ積載型消防ポンプ自動車、小型ポンプ積載車を管内に配置しています。

指揮車



消防団の現場指揮及び統制のため、消防団長等が出動する車両です。災害現場においては消防団と消防署の連携に欠かせません。

ポンプ車



日本一の配備数を誇る車両で、主に水を送る中継車として使用されます。単体でも消火活動が可能であり、火災現場では消防署と連携し、消火活動にあたります。

小型ポンプ積載型ポンプ車



ポンプを使用した消火活動を行うことができ、消防水利や河川等の自然水利を活用し可搬ポンプでの消火活動も可能な消防車両です。



小型ポンプ積載車



消防水利や、河川等の自然水利を活用し、消火活動を行うことができます。



(3) 消防団車両現勢

令和4年4月1日現在

所 属	種 別	車 両 種 別	初度登録年度	備 考
団 本 部		指 揮 車	H14	
第 1 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H25	
第 2 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H29	
第 3 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H30	
第 4 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H30	
第 5 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H18	
第 6 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H12	
第 7 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H17	
第 8 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H 9	
第 9 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H12	
第 10 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H17	
第 11 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 1	小型ポンプ積載型
第 12 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H15	
		小型ポンプ積載車	H13	
第 13 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 2	小型ポンプ積載型
第 14 分 団		小型ポンプ積載車	H10	
		ポンプ車 (CD-1)	H16	
第 15 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 3	小型ポンプ積載型
第 16 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H15	
第 17 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 3	小型ポンプ積載型
第 18 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H28	
第 19 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H25	小型ポンプ積載型
第 20 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H16	
		小型ポンプ積載車	H14	
第 21 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H27	
第 22 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 2	小型ポンプ積載型
第 23 分 団		ポンプ車 (CD-1)	R 1	小型ポンプ積載型
第 24 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H 8	
		小型ポンプ積載車	H14	
第 25 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H29	小型ポンプ積載型
第 26 分 団		ポンプ車 (CD-1)	H 8	
		小型ポンプ積載車	H14	

(3) 消防団分布図



拡大図A



拡大図B



かすみがうら市

消防年報

発行 令和4年8月

編集 石岡市消防本部

石岡市消防本部

〒315-0001 茨城県石岡市石岡一丁目2番地18

TEL. 0299-23-0119 / FAX. 0299-22-5895

テレフォンサービス. 0299-24-1818

URL <http://fd.city.ishioka.lg.jp/>

E-mail shoubou@city.ishioka.lg.jp